

## 2011年度 第1回 神学生交流会

大学の枠を超え、神学生として祈りと交わりと学びを共にしましょう。

# 「いのちとは何か」を考える。

臓器移植やiPS細胞の開発をはじめ医療技術の発展によって人の寿命が著しく延びた反面、認知症や老老介護の問題が尊属殺人事件を引き起こす現代において、キリストの福音を宣教する教会の使命は、何でしょうか。

今回は、イエズス会司祭で大学で生命倫理を講義しておられるホアン・マシア先生から「キリスト教と生命観」というお話をしていただきます。昼食会には関西学院大学神学部で「いのちの神学」を教えておられる土井健司先生にお加わりいただいて「いのちの神学」のオリエンテーションをしていただきます。

**日時:** 2011年5月14日(土) 正午～午後5時半

- ①正午～昼食会 関西学院大学神学部教授 土井健司先生を囲んで
- ②午後1時30分～修学院フォーラム「いのちを考える」に合流  
講師: ホアン・マシア先生(イエズス会士、文教大学客員教授)

**場所:** 関西セミナーハウス  
資料室前(昼食)、中会議室(フォーラム)

**参加費:** 500円(昼食・コーヒー代を含む)

**定員:** 10名

**しめきり:** 5月11日(水) または、定員に達し次第。  
電話、FAX、E-mailなどで、お申込ください。

地図

